



ナースキャップはなぜ落ちないの

ヘアピンなどでとめているから

看護婦さんがかぶっているぼうしを、ナースキャップといいます。ナースキャップには、いろいろな形のものがあります。色は白だけではなく、ピンクのものもあります。

看護婦さんは、病院の中をいそがしく歩きまわり、患者さんの世話をしたり、たいへんな仕事です。立ったり、すわったり、かがんだりして、体を動かしながら仕事をしますので、ぼうしが落ちてしまったりは仕事になりません。そこで、ぼうしが落ちないように、ヘアピンなどでとめるようにしているのです。

ふつう、ぼうしの前の方と後ろの方の両方とも、ヘアピンなどでとめています。ぼうしの形によっては、どちらか片方を、とめるだけでいいものもあります。

看護婦さんになる方法

看護婦さんは、お医者さんの仕事を手伝ったり、けが人や病気の人のお世話をする大切な仕事です。看護婦さんになるには、高校を卒業後、文部大臣の指定した学校で3年以上、看護婦に必要な学科を修めた人、高校卒業後、厚生大臣の指定した看護婦養成所を卒業した人、大学の看護学部を卒業した人という条件があります。このあと、国家試験に合格しなければなりません。

今では、女性の看護婦さんだけではなく、男性の看護師さんも、活やくするようになっています。（監修・青木 国夫）

